

福島県PTA連合会



# PTA 福島 第123号

県P連活動スローガン **子と親が共に育つPTA活動を**

編集：調査広報委員会

印刷：株式会社第一印刷

## 社会教育課長あいさつ

### 失敗しても安心できる環境を



社会教育課長  
鈴木 正和

先日日本屋を訪れた時、ある違和感を感じました。それは、幼児が店内の椅子で一人、親が来るのを待っているようでしたが、その子の手には絵本ではなくスマホ。たくさんの絵本に囲まれている中でも、小さな指で器用に画面をスクロールして遊んでいるようでした。このような光景は特別ではなく、生まれながらに携帯電話やインターネット端末に囲まれて生活している子どもにとっては、自然な姿なのかもしれません。読書推進役の一人である私は、もっと本の魅力を伝えなければという使命感が湧いてくるのです。

社会教育課では、幼児期から高校生までの読書活動の推進に取り組んでおり、その中で、私自身も読書の大切さ、そして絵本の力、大人も絵本から学ぶということを改めて感じ、今では本屋に行くと絵本コーナーを覗くようになりました。今、私が推しの絵本は、2023年ベストセラーとなった鈴木のみたけ作の『大ピンチずかん』（小学館）です。そこには、紙パックジュースのストローが入ってしまったり、お風呂の蓋を取るとお湯が入ってなかったり等、誰しもが経験した大ピンチの場面を、そのレベルごとに紹介している絵本で、きっと私たち大人も、面白おかしくその経験を話したがるはずです。特に、表紙の牛乳をこぼす「大ピンチ」の場面では、その表情からいろいろな思いが読み取れます。牛乳がもったいないと思っているのか、叱る親の顔が浮かんでいるのか、どうすればバレないか等。この「ピンチ」の瞬間に、大きなショックを受けながら

も、子どもなりになんとか乗り切ろうと、一瞬でいろいろ考えを巡らしていることが読み取れます。

しかし、実際にこのような場面を見た大人は、どうするでしょうか。大人が代わりに拭き取ったり、「すぐ拭きなさい」と大声を出したり、あるいは「こぼさないように少しずつ」と先回りして失敗しないように指示したり等々。このような大人の行動は、子どもをピンチから救っていることではありませんが、いろいろな考えを自分で巡らせるせっかくの経験を奪ってしまっているのです。

予測困難な、急激に変化する社会の中でたくましく生きる子どもを育成するために私たち大人がすべきことは、子どもが失敗しないように守るだけではなく、子どもが失敗しても安心できる環境づくり、失敗するのが当たり前だと思わせることが大切です。このことが、ピンチを自分で乗り越える力となり、さらには友達のピンチにも寄り添える姿につながることでしょう。そのためにも、大人も失敗することを伝えたり、失敗した後の行動を見守ったりすることが大切であることをこの絵本から教えてもらいました。これからも、次世代を担う子ども達のために、社会総ぐるみで支える地域づくりを目指し、様々な事業を通してその実現に取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご協力と御支援をよろしく願います。

## 目次

福島県教育庁社会教育課長あいさつ	P1
日本PTA全国協議会会長表彰 受賞団体の紹介	P2
令和6年度県大会のお知らせ	P2
優良PTA文部科学大臣表彰 受賞団体の紹介	P3
安全互助会のお知らせ	P3
第47回子ども災害事故防止 習字・ポスター作品展	P4

## 福島県PTA安全互助会補償制度

(児童・生徒、PTA会員傷害・賠償補償制度)

- 児童・生徒のケガや「熱中症」「食中毒」による入院・通院が補償対象となります。
  - 児童・生徒の賠償事故も補償対象となります。
- 支払事例：自転車走行中、歩行者にぶつかりケガをさせた。



※I・IIコース加入の場合  
1億円まで補償。



詳しくは、福島県PTA連合会HPをご覧ください。

## ふくしまっ子子ども総合補償制度

(小・中学生総合補償制度)

- 日常生活個人賠償責任補償では示談交渉サービスをご利用いただけます。
- 学校等から貸与されるタブレットやノートパソコンも補償の対象となります。



請求漏れはございませんか？

# 特集 日本PTA全国協議会会長表彰 受賞団体の紹介

## 「すべては子ども達のために」 いわき市立植田小学校父母と教師の会



PTA会長  
渡邊 善行

このたびは、日本PTA全国協議会会長表彰という光栄な賞をいただき、誠にありがとうございます。教職員と保護者が力を合わせPTA活動を盛り上げてきたことが評価されたと、大変嬉しく思っています。植田小学校PTAでは、全ての会員が、学年集会・広報・厚生・読み聞かせの専門委員会に所属しています。一部の役員に負担が集中しないよう、毎年「一人一役」

でPTA活動を進めています。

学年集会委員の活動の一例を紹介します。保護者自らがミニ運動会やタイムカプセル作り等を立案・運営し、親子が楽しくふれ合う貴重な機会を作っています。近年は、活動のアイデアや講師の紹介等で公民館の協力をいただくこともあり、地域との繋がりがより深くなってきていると感じています。

「すべては子ども達のために。」植田小学校PTAは、これからも学校・保護者・地域の連携を密にし、活動していきます。



## 生徒のよりよい学校生活のために 伊達市立桃陵中学校父母と教師の会



父母と教師の会会長  
舟山 淳

本校は伊達市の中央に位置する生徒数361名の中規模校で、原中学校の分割を機に誕生し、創立37年目を迎えました。

今年度も保護者と教職員の結びつきを深めながら、奉仕活動や講演会の企画運営を行って参りました。7月には、中学校のサッカー部で外部指導員として

活動された経験をもつ、相馬ガス株式会社取締役社長の今津健充氏を講師に迎え、「自ら考える」をテーマに教養講座を開催しました。サッカーの指導では「子供達が常に自分で考え、正しく判断し行動する癖を付けてもらうこと」を心がけているそうです。生活面においても、無理強いするのではなく、なるべく自分で問題に向き合う機会を提供してあげてはどうかという内容に深い学びを得ることができました。近年の子育ては大人が必

要以上に子供に手を差し伸べ、子供が成長する好機を逃している傾向にあります。本校では登下校で多くの生徒が車の送迎に頼りがちです。解決策として自転車通学範囲を撤廃し、希望する生徒には自転車通学を認め、ヘルメットも日常的に着用する習慣作りのために自由化する予定です。

今回の受賞を励みに今後も生徒のよりよい学校生活のために活動して参ります。受賞に当たり長年、本活動に貢献していただいた保護者の皆様と先生方に深く感謝いたします。



### 令和6年度 県大会のお知らせ

第72回福島県PTA  
研究大会郡山・田村大会

- 1 大会主題 楽都郡山で奏でる、人と地域のハーモニー  
～予測困難な時代を笑顔でたくましく生きる子どもたちのために～
- 2 期 日 令和6年10月12日(土)
- 3 会 場 けんしん郡山文化センター
- 4 日 程 受付 12:30～ 全体会 13:00～  
記念講演 13:30～ 分科会 15:00～
- 5 記念講演 講師 玄侑 宗久 氏  
演題 星とスミレを見つめて

# 特集 優良PTA文部科学大臣表彰 受賞団体の紹介

## 「子どもたちのために」をスローガンに 郡山市立芳山小学校父母と先生の会



PTA会長  
高橋 信男

この度は「優良PTA文部科学大臣表彰」という大変光栄な賞を受賞させていただき、ありがとうございます。郡山市立芳山小学校は、明治33年に郡山第二尋常高等小学校として開校し、今年で123周年を迎えました。市の中心部に位置し、周りには中学校や高等学校、文教施設や商業施設が並ぶ市街地にあります。また、本校では先生方が教育研究に熱心に取り組んでおり、学び育つ子どもたちの姿を広く県内外の先生方に公

開しており、PTAも「かおりのスタッフ」としてバックアップしております。私たちPTAの活動は、子どもたちの学びを支えることを一番の目標とし、「かおりのバザー」や会報「かおりの園」の発行、多彩な講師を招いての教養講座、親睦を深める親善球技大会等、楽しく生き生きと活動しております。

今回の受賞は、歴史と伝統ある本校PTA活動があり、学校や地域の皆様のご協力の賜物です。今後も多くの皆さまと協力し、この賞に恥じることはないよう、「子どもたちのために」をスローガンに学校生活を支えてまいりたいと存じます。



## 稲作栽培活動と土曜教室 喜多方市立堂島小学校父母と教師の会



PTA会長  
加藤 伸治

この度本校では優良PTA文部科学大臣表彰を受賞致しました。受賞の主な要因となった活動が稲作栽培活動と土曜教室です。稲作栽培活動は昭和62年に昔ながらの稲作を学んでもらおうと始まったもので、地域の方を指導員として招き、種まきから稲刈りまで手作業で行います。農業を学ぶだけでなく協調性や食育の観点からも大変重要な活動になっています。

また土曜教室は完全学校週5日制の施行された平成14年に始まりました。児童の健全な心と体の育成、家庭と学校と地域社会の連携などを目的に年4回実施しています。こちら地域の方にご指導いただき、昔語り、茶道教室、門松作りなど様々な教室を開いています。保護者や児童達からも「楽しく学べた」「次はこんな教室があったら良い」など多くの意見をいただいています。

この度の受賞にあたり先代の先輩方や先生方に感謝すると共に、今後も伝統ある活動を通じ子ども達の健全育成に努力して参ります。



### 安全互助会 のお知らせ

事故報告は、令和6年4月1日より、専用コールセンター（24時間365日対応可能）への電話でも受付可能となります。また、紙面の「事故報告書」の郵送も受け付けます。詳細は、安全互助会補償制度「事務取扱概要」のP7～P10でご確認ください。

なお、「5県P連第84号」と「5県P連第97号」の「事故報告」方法の変更についての通知もご確認のうえ、保護者の方々への周知についてよろしくお願いいたします。

# 第47回 子ども災害事故防止 習字・ポスター作品展

## ポスターの部入賞者

### 小学校の部

応募校数18校、応募総数58点

最優秀賞

- ▷1年=武蔵侑剛(小金井) ▷2年=生熊夏帆(白河二)
- ▷3年=添田陽太(石川) ▷4年=金澤澄恰(石川)
- ▷5年=鈴木未来乃(石川) ▷6年=小林永愛(熊倉(喜))

優秀賞

- ▷1年=坂内奏太(鶴城) ▷2年=平湯朗人(浅川)
- ▷3年=及川怜奈(平一) ▷4年=山田果凜(白河二)
- ▷5年=安藤青空(四倉) ▷6年=植木小梅(河東学園)

優良賞

- ▷1年=安藤璃空(四倉) ▷2年=渡部七葉(熊倉(喜))
- ▷3年=添田心愛音(柏城) ▷4年=新国小百合(豊川)
- ▷5年=久下莉里香(石川) ▷6年=立川詩穂理(豊川)

### 中学校の部

応募校数4校、応募総数21点

最優秀賞

- ▷1年=櫻井菜々美(須賀川三) ▷2年=渡辺陸斗(須賀川三)

優秀賞

- ▷1年=鈴木楨理(棚倉) ▷2年=鈴木咲紅(浅川)
- ▷3年=中島明里(棚倉)

優良賞

- ▷1年=荻野葵(須賀川三) ▷2年=田辺楓杏(西郷一)

## 習字の部入賞者

### 小学校の部

応募校数47校、応募総数621点

最優秀賞

- ▷1年=遠藤朱莉(石川) ▷2年=室井柊伍(白河二)
- ▷3年=齋藤まえむ(川俣) ▷4年=松川優菜(豊川)
- ▷5年=薄井唯(表郷) ▷6年=荒川美緒(関辺)

優秀賞

- ▷1年=須藤日菜(豊川) 鈴木早希(緑ヶ丘一) 熊田結愛(玉川一) ▷2年=巖和磨(附属) 高木啓嶺(夏井) 大石結稀(熊倉(西)) ▷3年=近藤凜空(熊倉(西)) 小林美心(附属) 竹村知花(鶴城) 太田陽大(藤原) ▷4年=二瓶莉子(鶴城) 室井大空(磐崎) 高木悠暢(夏井) 巖千桜(附属) ▷5年=末廣莉央奈(中央台東) 吉津心晴(鶴城) 松野結衣(日新) ▷6年=村田虹乃(磐崎) 西禎彩乃(須賀川三) 廣澤若奈(白河二)

優良賞

- ▷1年=緑川和真(表郷) 佐藤詢斗(鹿島(南相)) 仁井田隼(須賀川三) 松崎剣之介(白河一) ▷2年=國分瑛太(白河二) 関根朱莉(大森(須)) 鈴木美智瑠(藤原) 坂本由梨香(熊倉(西)) 杉内芽依(四倉) ▷3年=國分咲(富田東) 設楽理乃(船引) 長谷部柚衣(福一) 平野琉衣(熊倉(西)) 鈴木蒼彩(緑ヶ丘一) 大串菜奈(石川) 赤沢未菜美(磐崎) ▷4年=土橋世佳(鶴城) 吉成菜々美(塩川) 根本周天子(四倉) 近藤菜奈(富田東) 深谷天音(白河二) 眞野悠人(小金井) 吉川珠実(緑ヶ丘一) ▷5年=讃岐怜華(日新) 大竹絢心(緑ヶ丘一) 坂内心暖(鶴城) 坂本遙香(熊倉(西)) 安齋涼華(富田東) ▷6年=小林永愛(熊倉(喜)) 小出千咲子(関辺) 吉田果歩(富田東) 生田日夏希(浅川) 荒井汐音(三春)

### 中学校の部

応募校数34校、応募総数167点

最優秀賞

- ▷1年=小針リリは(西郷一) ▷2年=生出遥香(田島) ▷3年=齋藤ゆうあ(川俣)

優秀賞

- ▷1年=藤田真結(棚倉) 鈴木花凜(須賀川二) ▷2年=渡部小夏(河東学園) 薄井悠(表郷) ▷3年=星真緒(田島)

優良賞

- ▷1年=解良優月(郡山一) 鶴見奈々(原町二) 池陽世里(須賀川二) 込山怜奈(鏡石) ▷2年=讃岐朋華(若松三) 加藤聡(棚倉) 金澤慶依(西袋) ▷3年=浅井花月(若松一) 田村菜葉(西郷一)

## ポスターの部最優秀賞



小金井小 1年 武蔵侑剛



白河二小 2年 生熊夏帆



石川小 3年 添田陽太



石川小 4年 金澤澄恰



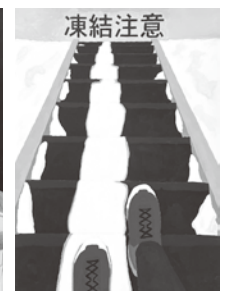
石川小 5年 鈴木未来乃



熊倉小(喜)6年 小林永愛



須賀川三中 1年 櫻井菜々美



須賀川三中 2年 渡辺陸斗

## 習字の部最優秀賞



石川小 1年 遠藤朱莉



白河二小 2年 室井柊伍



川俣小 3年 齋藤まえむ



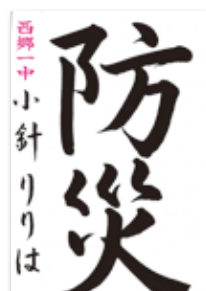
豊川小 4年 松川 優菜



表郷小 5年 薄井唯



関辺小 6年 荒川美緒



西郷一中 1年 小針リリは



田島中 2年 生出遥香



川俣中 3年 齋藤ゆうあ